



浴衣姿で頼母船を流す柳井中の生徒たち!!20日、柳井市柳井津

催し、今年で24回目。浴衣にぎたを履いた生徒たちは川の近くの町並み資料館に集まり、折り紙で作った金魚りょうちんに一人一人願い事を書いてプラスチック製の頬母船（全長約50cm）の帆先に置き、歩いて川に向かった。石畳に並んでしゃがみ、船をゆっく

守る会（木阪泰之会長、約50人）によるべく、平安時代末期、親が娘の良縁を願い、八朔（旧暦8月1日）に合わせて流したのが始まり。以後、数は減り個人で続ける人もいたが、同会が2000年から地域文化の継承を目的に地域行事として開催し、今年で24回目。

柳井市の伝統行事「八朔  
船流し」が20日、市内を流れる柳井川の河川公園であり、浴衣姿の柳井中学校の1年生12人が願いを込めて頬母船を流した。

頼母船に願い込めて

# 柳井中生徒 伝統の八朔船流し

## 福岡の精華女子高 吹奏楽部が演奏会

長門で来月22日

YCAM  
東京画廊+BT  
PEPEREE  
(22日午後0時  
後0時55分、24  
日午後5時  
10時半、28日  
まわり道(4  
(22日午後3時  
さすらい(4  
R15+(23日

りと川面に浮かべて流した。船には釣り糸が付けてあり、引いて回収した。

YCAM

「お風呂が沸きました」とアラブンスされることに久しく慣れていったが、実はそのメロディ、クラシック曲だったということを知ったのは、ほんの数年前のことである。ドイツの作曲家テオドール・エステンの「人形の夢と自覚め」というピアノ曲の一節なのだそうだ。いやいや、違いますよ。今度はガスにかけていた鍋の温度が高くなりすぎて、自動的に火が消えたという話だ。今や小さな忘  
りがたいことだ!」と反射的に思う人が増えたから、こんな馴染み深い曲は

しかし、そうなると電話の着信音はこのままで、LINEはまだ一メassageはこのままし音はあれを選つもりはないのにねが更新されるとア自然而他のメロディがわからなくなり、街信音と同じメロディ慌ててバッグを探りピーピーにオタオタ電子音に振り回さこへ行くのだろう。

A child's drawing on lined paper. In the center, a girl with short brown hair, wearing a yellow dress with a pocket, is dancing with arms outstretched; question marks are above her head. To her left, a small green bag sits on the floor. To her right, a cat plays with a green alarm clock on the floor. The background features a red square with a white border on the left, a tall building-like structure at the top, and a large rectangular frame on the right containing horizontal lines.